

# 陽成地区コミ協だより

陽成地区コミュニティ協議会  
薩摩川内市陽成町 4620 番地  
電話 / FAX 30-2514

## 会長就任のごあいさつ

薫風の候、会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか？

今年度から、陽成地区コミュニティ協議会の会長となりました、四牧自治会の東田でございます。

まずもって、10年間の永きに渡り、共助の立場から、本地区の活性化、人材育成または交流・親睦を図るため尽力いただいた前会長の「田中 壽」様のご功績に心からの敬意を表するとともに、全会員を代表しまして感謝の意を表す次第であります。

さて、41年9か月の歳月を市役所職員として、公僕、すなわち公の僕として、勤めさせていただいたつもりであり、その間、四牧自治会はもとより、陽成地区の皆様にも、遠からず、浅からずご支援・ご協力を頂き、誠にありがとうございました。

そのようなことから、私といたしましては、いつかは、何らかの形で恩返しをさせていただきたく存じておりました。

この度、会長を務めさせていただくこととなりましたが、まずは、肩肘張ることなく、これまで田中会長を中心として進めてこられた、事業や活動を、継承・継続して参りたいと考えております。

陽成の地区名の由来につきましては、皆様ご存じのことと存じますが、「陽気発する処 金石亦透る 精神一到何事か成らざらん」からの引用となりますが、「陽気発する処」すなわち「陽気発する陽成地区」としていくためには、何が必要なのか、何を成すべきなのか、未だ何も頭に浮かんでできませんが、会員皆様のお知恵を頂きながら、実行可能なものを見定めながら取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

陽成地区コミュニティ協議会  
会長 東田 幸一

副会長、2年目となる今回は、陽成山側の奥に住んでいる人がほとんどいない。また、小さなお子さんを見るものがほとんどない。

このような地域であります。老・若・小と皆が楽しく元気よく出来ること（一緒・別々）はないかと考える1年としたい。

副会長 染谷純二

令和5年度がスタートしました。

新会長をお迎えし、心機一転皆様の御協力ご指導をいただき任期2年の残り1年自分にできる範囲の中、体調の許す限り頑張りたいと思います。

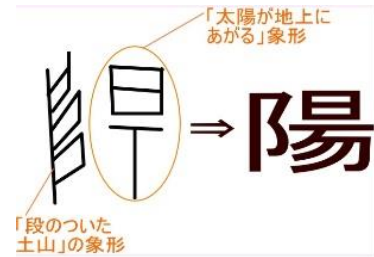
宜しくお願いします。

副会長 若吉久子

地域おこし協力隊の伊藤です。

初めて「陽成」を訪れた日から私はこの「陽成」という地名が大好きです。「ようぜい」という響きはもちろん、漢字の由来を知り、さらに好きになりました。

豆知識：「陽」という漢字は「段のついた土山」の象形と「太陽が地上にあがる」象形から「陽」という漢字が成り立ったそうです。



今年も「陽」の話題をお届けすることが出来ればと考えておりますので、引き続きよろしくお願いたします。

## 令和4年度陽成地区コミュニティ協議会総会

4月23（日）9時30分より陽成地区コミュニティセンターにおきまして、地区地区の総会が開催されました。

令和4年度の事業報告、会計報告のあと、令和5年度事業計画（案）・予算（案）・規程改定（案）について審議して頂き、承認されました。

お忙しい中多くの会員様にご出席してくださいました。

ご協力ありがとうございました。

地区の皆様、令和5年度も引き続きどうぞよろしくお願致します。



田中壽前会長陽成地区のために10年間有難うございました。

東田幸一新会長どうぞよろしくお願致します。

真剣に審議して頂きました。

陽成地区の皆さんへ

## 退任のご挨拶

新緑の香りがすがすがしい季節になりました。

地区の皆さま方におかれましては、ますますご清栄の事とお喜び申し上げます。

わたしごとで恐縮ではございますが、令和5年4月23日の地区コミュニティ協議会総会をもちまして、地区コミュニティ協議会会長を退任いたしました。

平成25年に柗平昭男会長の後任として、10年の長年にわたる任務を遂行できたことは、多くの皆さんからのお力添えやご厚情の賜ものと、心より感謝と御礼を申し上げます。

就任当初は、右も左も判らず暗中模索しながら、我がふるさと陽成の現状と課題をしっかりと把握することからスタートしました。

少子高齢化に伴う人口減や安全に安心して暮らせるまちづくりなど多くの課題が山積しているなか、活動の基本となる「古きを尊び、新しきを学び、明るく元気な陽成」を掲げつつも、よちよち歩きの私にとっては、皆さん方からの温かいご支援ご協力が、活動に向けた活力と勇気の原点となりました。

さて、地区の大きな活動を振り返ってみますと、まずひとつに年々少子化が進み「地域の宝」である児童数の減少などにより学校再編は避けられない状況となったことがあげられます。

学校存続への思いを込めた取り組みとして、子供たちの放課後における安心安全な環境と学校では出来ないような事を学ぶ「陽成子供教室」の開設や、育友会、再編検討委員会などによる話し合いを重ねて来ましたが、「未来ある子供たちが学びあう、より良い教育環境が一番」との結論に至り、母校がなくなる寂しさや辛さはあるなか苦渋の決断のもと、創立138年の歴史ある陽成小学校は、平成30年に高来小学校への統合となりました。

県内外から多くの卒業生や来賓、地域の皆さんのご臨席のもと閉校記念式典を挙行し、未来へ向かって新しい時代へ進もうと誓い合いました。

つぎに、陽成のシンボルとして厳かにたたずんでいる一條神社は、315年以上も前に造られ、この神社一円を歴史的遺産として大切に守ってきたことが認められ、平成26年に「一條神

社と歴史の杜」として、薩摩川内市景観重要資産に、また郷土芸能 陽成太鼓踊りも平成30年に、薩摩川内市無形民俗文化財に指定されました。私たちは先人、先輩方々への感謝や郷土の誇り、心のよりどころとして大切に守って参りたいと思うところです。

任務期間中の後半の3年間は新型コロナウイルスに翻弄され、従来の生活リズムが大きく影響を受け、地区コミ協活動も中止や制限が求められました。

地区最大のイベントである文化祭・鬼火焚きなども中止を余儀なくされ、前年度、3年ぶりに開催することができました。

また、地域おこし協力隊員が就任して取り組んだ活動として、陽成竹資源活用をコンセプト(新しい視点や考え方)とした竹灯籠、竹あかりなどの事業や、各部会主催の自主活動やイベントも工夫、見直し等による活動として、銀杏の木へのライトアップ、イルミネーション、混岳登山、初日の出や、季節ごとに咲きほこる花いっぱい活動なども新型コロナウイルス禍で明るい元気を与えたと思います。

その後の学校閉校跡地の利活用については体育館と幼稚園は事業者、団体による利活用が始まり、交流人口増に寄与されていると思います。残りの跡地については、行政において検討中であり、地域活性化の起爆剤になることを期待します。

以上、陽成の現状と課題等について、地区の皆さんのご理解とご協力のもと取り組んだ、多くの活動の中から特筆した取り組みについて述べさせて頂きました。

改めて地区の皆さんへ厚く御礼申し上げます。

退任後は、これまで出来なかった家族サービスや趣味を活かした日々を楽しみたいと考えています。しばらく、ゆっくりしたあとは、これまでいただいた教えを無駄にせぬよう地区の皆さんと一緒にあって、陽成のためにお力添えができればなあと思っているところです。

最後に、地区の皆さんや新しく就任されました東田幸一陽成地区コミュニティ協議会会長のもと、さらなる活性化やこれまでも増して健康で明るく元気な陽成で有りますことをご祈念申し上げます、退任の挨拶とさせていただきます。

令和5年5月吉日

田 中 壽